

記録

令和5年度 第3回学校運営協議会

令和6年2月9日 14時～16時

司会 熊本教頭

書記 中井

資料確認

4名の委員の方が出席

1, 校長挨拶

2, 議事

(1) 学校教育自己診断の結果報告(別紙2枚 生徒・職員)

生徒の方を中心にいずれも、肯定的な回答が多いが、3番目の生徒指導方針は肯定的な回答が低くなっている。

※回収率が減った→何分でできるなどのアナウンスをしたが、回収率が減っている。グーグルフォームで投げっぱなしになっているのが要因ではないか。1年の回収率は良いが、2・3年の回収率が低い。

(2) 令和5年度学校経営計画の評価

進路関係…進路状況は、指定校含め例年と同じような感じ。(別紙)

生徒の方は満足度は高い。現在受験中・迷っている生徒もまだいる状況。自分の満足できる進路に進んでる生徒が多い。

教育相談委員会(保健部)…教育相談体制を見直して、毎月一回情報共有する。

別紙のプリントのように教育相談委員会を経て、支援していく。

課題として、情報共有してもどうとらえるか。

外国語教育(総務国際部)…第二外国語に関して満足度が高い。出前授業(長野中学)へ行き、長野高校生が中学生に教える授業は好評国際交流での満足度も高かった。1年生に対してユネスコに関する講義など、目標に達していた。

地域貢献…参加生徒の満足度は高かった。

広報に関する満足度は少し低い。

校内運営体制の改革と人材の育成

時間外業務について 部活動の時間外を減らすという通達? 詳細は、来年度。

(3) 今年度の取り組みと今後について～分掌・委員会より報告～

保健部…教育相談 今年度増えている。

(4) 令和6年度学校経営計画

内容的には変更はしていないが、細かい文言等変更あり。

3, 本年度の取組内容(別紙)

ICT活用の研修計画…デジタル採点等進んできているので、年度当初の取組としてはしない。何らかの研修は行う。生徒向けの支援体制 工夫をしながら数値を上げていく

本校の課題に対する解決方法や目標達成に向けた研究や会議の企画・運営年3回以上実施する。→この中にICTの研修も含む今年度は教職員中心になったの校内研修も行った。

4, 協議(意見交換)

・教育相談体制 どのくらいの相談があるのか

→1年間 相談回数何千回。(小さな相談も多い)

・教育相談うまく行かないケースもあったとは? →管理職との連携が課題

- ・ヤングケアラーについて 吐き出すところがない精神年齢が低い子も多い進路についての悩みもあるだろうし、拾ってあげないと学校に来れなくなる。
- ・長野高校の魅力をもっと声を出して言うべき。部活動でも引っ張ってあげる。
- ・教員研修は素晴らしい！
- ・国際文化科は長野にとっての強み国際の文化が当たり前になる、色々な経験ができることによって満足度が上がる 外国人の子達の進路保証→長吉高校
- ・どの魅力をどう出していか。何をしていけばいいか。関西外大に行かなくなったということから、受け身にならず、コミュニケーション力を高める。子どもたちが主体的に動けるように。
- ・海外研修どのくらい行くのか、予算は？ →オーストラリア2週間20名程 1人あたり35万円程 フィリピンセブ島語学研修は1名 合同での語学研修になった。 引率は旅行会社 今まで長野ではできなかったプログラムが体験できる。英語力は上がるか？→そんなには変わらないが、自信につながる。セブ島は語学学校なので、マンツーマンで指導してもらえる。
- ・ニュージーランドに語学留学があると知って、長野高校に行きたいと(お子さん) 言っていた。もっとそういうのを発信したら。学校から語学研修に行けるということで安心感はある。
- ・アンケート結果で、部活動に関することが低くなっている。基本が薄れているのではないか。
- ・親が子供とのコミュニケーションに困っていないか探れないか。
- ・生徒指導についての満足度が低すぎる
世の中が変わっているので、自分たちのことを自分たちで決めていくことができないか。時間がかかってもそういった場をもてないか。この数字で遅刻や化粧等の指導に労力をかけるのはナンセンス。